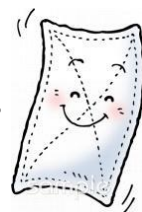


温かい生徒たちを紹介します



最近校内であった、太西^星の優しさ、温かさを感じる話を2つ紹介します。

☆掃除終了後に廊下を歩いていた時、ふと床を見ると、小さな水たまりのように水がこぼれているところがありました。少し暗いところであったので、その掃除区域の生徒も気づかなかったのだと思います。私が水たまりを見つめていると、掃除が終わって通りがかった2年生の女子が、「拭きましょうか?」と言ってくれました。私は「いいよ、私がしておくから」と言い、雑巾を探しました。しかしすぐに雑巾が見つかりませんでした。その時、さきほどの生徒サッと雑巾を差し出してくれました。自然にとったこの行動がとても素敵だと思いました。素通りすることもできますが、水たまりと私を気にかけてくれて、サッと行動してくれたことを嬉しく思います。心が温まる出来事でした。



☆先日ランチサービス試食会がありました。この日は注文が多いため、いつもと違い廊下に長机を出して、ランチの入ったケースを置くようにしています。長机は1クラスに2台準備されます。この長机はけっこう重たいものです。それを1階会議室から2、3階廊下に運んでくれたのは2年生男子バスケット部でした。私は運ぶ様子を見ていませんでしたが、その場にいた先生の話では、皆、嫌がるどころか嬉しそうに運んでくれたそうです。とても素晴らしいボランティア精神だと思いました。さらに驚くのは顧問の先生によると、男子バスケット部の生徒は仕事を欲しており、声を掛けると喜んで手伝いをしてくれます。男子バスケット部、素敵です！勝つことや、技術の取得だけでなく、部活動をとおしてすごく心が育っている生徒たちです。そこで思い出すのは、バスケット部の練習中のあいさつや職員玄関の掃除の様子です。あいさつについては、体育館でも中庭でも、どこで活動していても私や来校者の方が通ると、練習をやめてきちんと気をつけをして大きな声で「こんにちは」とあいさつをしてくれます。あいさつを受ける側としては、とても気持ちが良くなります。また、来校者がある時に、バスケット部生と顧問の先生が一緒になって職員玄関あたりを、クレンザーを使ってきれいに掃除してくれます。この時も楽しそうに掃除をしてくれています。全く『やらされてる感』がありません。2年生男子バスケット部に感謝です。そして、このような生徒がいることを誇りに思います。



全部で20脚の机を運んでくれました



おかげで配膳が助かりました